

くすわかば



令和4年度学校だより 第17号
令和4年12月12日発行
熊本市立中緑小学校
校長 林田 匡

5年生集団宿泊教室

12月1日(木)から1泊2日の日程で、天明中学校区4小学校合同の集団宿泊教室が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、1泊2日で行うこととなりました。

1日目。バスで豊野少年自然の家に移動し、入所式が行われました。その後、ウォークラリーに出発。自然の家から砂防ダム～萩尾の大溜池～鑑ヶ池の外側をまわるハイキングコースを途中、昼食休憩をはさみながら歩きました。自然の家にもどり部屋の整理整頓をしたあと、17時30分から2班に分かれての夕食。そして19時30分からは、子どもたちが楽しみにしていたナイトハイクを行いました。ナイトハイクには、4校それぞれ応援の先生も来られ、万全の態勢で活動を実施することができました。ナイトハイクが終わった班からお風呂に入り、就寝となりました。

2日目は、6時30分に起床し、7時10分から朝のつどいが行われました。その後、部屋の片づけと荷物の整理を行い、7時50分から2班に分かれて朝食をとりました。2日目の午前中は、自然の家の施設内でツリーハンティングを楽しみました。12時から宿泊教室最後の食事を取り、解散式終了後、それぞれの学校に戻りました。普段は5年生9人で学校生活を送っていますが、今回は、4校の5年生約60人の中で生活し、活動を共にすることで、日頃できないたくさんの経験をする事ができた今回の行事。自然体験学習は、様々な相乗効果が期待できます。この行事で学んだことを学校生活の中で活かして行ってほしいと思います。



授業参観・懇談会お世話になりました！

12月9日(金)は2学期末の授業参観、懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。今回は、「特別の教科 道徳」の授業を公開しました。また、今週は2学期の「無言そうじ週間」の取組期間中のため、そうじの様子も見ていただきました。

さて、「特別の教科 道徳」では、目に見える部分を「道徳的実践」と呼び、具体的な行為や行動を表しています。反対に目に見えない部分を「道徳的実践力」と言い、心の中や目に見えない「内面的資質」としています。

3・4年生



5・6年生



道徳の授業では、この内面的資質である道徳的実践力の育成を年間35時間(1年生は34時間)の学習の中で育てていくため、多様な他者と考え、議論する授業をめざしています。道徳の学習で学んだことを、道徳的実践が必要な場で具体的な行為や行動となって表すことができる中緑っ子であってほしいと願っています。

今回の授業参観・懇談会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、保護者の皆様のご協力もあり予定どおり実施できました。3学期の授業参観は、令和5年2月24日(金)の午後から実施する予定です。

1年生



2年生



みどり学級

